

# 3年1組 道徳科学習指導案

授業者 青木 祐子

## 1 主題構成表

**主題名** どうすることが正しいか

**資料名** 思い切って言ったらどうなるの？

<p><b>■内容項目A 善悪の判断、自律、自由と責任</b> 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。</p>	<p><b>■内容項目から見た児童の実態(意識)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この時期の児童は、正・不正を見極める力が育ちつつある。また、正しいと思うことを実行したい、しなければならないという気持ちももっている。</li> <li>仲のよい友達の行いを正したり、友達に誘われた正しい行いを断ったりすることは難しい。</li> </ul> <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールやきまりは、周りのみんなや自分の安心安全を守るためにあるのだということを、日々の生活の中から学んでいるので、正しい行為はわかるのだが、多数派に流されて自己判断ができず、正しい行為を実行できない時もある。</li> <li>友達との結びつきが強くなる時期で、友達との関係やその後の自分の立場を考えて、心の中で葛藤が起き、正しいと思うことでもなかなか実行できない時もある。</li> </ul>	<p><b>■資料の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この資料は、主人公のともこが仲のよいあやに「さとみをなかまはずれにしよう」と誘われる話である。だれもが一度は経験したことがあるような問題であり、子どもたちも身近な問題として捉えることができるであろう。</li> <li>資料を通し、主人公の葛藤する心に共感させ、それでも正しいことを実現したいと思う心が、自分の中にもあることに気付かせたい。</li> <li>主人公の心の葛藤について話し合うことで、正しいと思うことを実現したい気持ちや、正しいことができた時の誇らしさ、正しいことができなかった時の後ろめたい気持ちについて考えることができる。「やはり自分は強い意志で正しいことをしたい」という気持ちを育てていける資料である。</li> </ul>
<p><b>■ 価値の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学年の児童は、様々な学習や生活を通して、正しいことや正しくないことの判断力が高まっていく時期である。しかし、正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかつたり、悪いことと知りながらも周囲に流されたり、自分の心の弱さに負けたりしてしまうこともある。</li> <li>しかし、誰でも、正しいことを行えなかった時、後ろめたさや後悔の念を抱くものである。それは、「正しいことを実現したい」という心があるからである。</li> <li>人としてしてはならないこと、しなければならないことを、よりよく生きたいと願う自分の心で判断し、深く考えることが必要である。自分の最善を尽くして考えれば、自然と自信がわき、強い意志を発揮できると考える。</li> <li>さらに、正しくないと考えられることを人に勧めないことはもとより、人から勧められたときにきっぱりと断ったり、正しくないと考えられることをしている人を止めたりすることができるように指導することも大切である。</li> </ul>		

**■ねらい**  
相手がだれであっても、正しいと思ったことは、自信をもって実行していこうとする態度を育てる。

**■他の教育活動との関連**

<p>事前 帰りの会 生活目標「時計を見て行動しよう」を振り返る。</p>	<p>本時 『思い切って言ったらどうなるの』 A 善悪の判断、自律、自由と責任</p>	<p>事後 体育「ポートボール」 ルールを守って、練習やゲームを楽しむ。審判を公平に行う。</p>
---	---	---

日常生活：誰に対しても、正しいと思ったことをきちんと伝え合い、また、仲間のよい姿も進んで伝え合うことができる。

## 2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇正しいと思うことでもできないときについて考える。</p> <p>○正しいと思うことでも、できないことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室やワークスペースでの過ごし方</li> <li>・登下校中の並び方や歩き方</li> <li>・交通ルール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアンケートを取り、紹介する。</li> <li>・正しいことができるようになるためにはどうしたらよいかという観点をもたせて教材に入る。</li> </ul>
展開	<p>◇資料「思い切って言ったらどうなるの」を読み、登場人物の人間関係を整理する。</p> <p>○ともこ・あや・さとみの3人はどんな関係ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ともこ→あや（仲がいい・気を遣うところもある）</li> <li>・あや→さとみ（きらい・なまいき）</li> </ul> <p>◇主人公の心の葛藤について考える。</p> <p>◎ともこの心の中で戦いが起きているのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやに嫌われたくないから。</li> <li>・さとみがかわいそうだから。</li> <li>・仲間外れはよくないから。</li> <li>・誘わなければ嫌われないけど、もやもやが続くから。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深めの発問】</p> <p>○じぶんがともこだったら、はっきりと言えるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言える。あやもさとみも大事な友達だから。</li> <li>・言えない。あやに嫌われてしまうのは怖いから。</li> </ul> </div> <p>○息をのんだともこに、アドバイスをしてあげましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり仲間外れはよくないよ。さとみさんも誘おうよ。</li> <li>・仲良しでも、間違っことはきちんと言ったほうがいいよ。</li> </ul> <p>◇正しいと思うことを実行することの価値について考える。</p> <p>○思い切って言ったらどんなよいことがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言わないと、いつまでももやもやが続くけど、言えたら明るい気持ちになれる。</li> <li>・正しいと思ったことをすると、自分のことが好きになる。</li> <li>・正しいことを言えないと後悔する。さとみのためにも、あやのためにも、言ってよかったと思える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人の顔と名前、関係を図式化して分かりやすくする。</li> <li>・登場人物に起こっている状況を確認する。</li> <li>・仲のよい友達だからこそ、言いたいけど言えない、心の葛藤に気付かせ、二つの心に共感させる。</li> <li>・自分の友達との関わりの中での同じような経験を想起させ、人間理解につなげる。</li> <li>・思い切って言うことに不安を感じている主人公に何と言えよいか考えさせ、またその理由も問うことで、勇気をもって正しいことを行うよさを感じさせる。</li> <li>・勇気を出して正しいことを行ったら、自分も明るい気持ちになることに気付かせる。</li> </ul>
終末	<p>◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。</p> <p>○学習を終えて、自分の気持ちを考えてみましょう。</p> <p>○これまでの自分を振り返ってみましょう。</p> <p>◇教師の説話を聞き、正しいと思ったことは勇気をもって行っていこうという意欲をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちに一番近い顔の表情を選ぶ。</li> <li>・これまでの経験を振り返って書く。</li> <li>・やってはならないことをやめさせる勇気をもてるような話をする。</li> </ul>